

本資料は、サノフィパスツール(フランス、リヨン)が2016年2月2日(現地時間)に発表した プレスリリースを日本語に翻訳・編集し、2月8日に配信するものです。本資料の正式言語はフランス語・英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。

サノフィパスツール、豊富なワクチン開発経験を応用し ジカ熱ワクチンの開発へ

デング熱ワクチンDengvaxia[®]等、類似ウイルスのワクチン開発の経験を生かした ジカ熱ワクチンプロジェクト

フランス、リヨン - 2016年2月2日 - サノフィのワクチン事業部門であるサノフィパスツールは、本日、ジカウイルスの感染と発症の予防に向けたワクチン研究開発プロジェクトを立ち上げましたのでお知らせします。

サノフィパスツールは、ジカウイルスと同じ科に属するワクチンの研究開発をリードする企業で、黄熱ワクチンや日本脳炎ワクチン、最近ではデング熱ワクチンの承認を取得しています。サノフィパスツールは、先ごろ承認を取得したデング熱ワクチンDengvaxia[®]に関連し構築した専門性と、研究開発部門や産業基盤を応用することで、ジカウイルスの感染様式を理解し、臨床開発へと進めるワクチン候補を速やかに特定できる可能性があります。

サノフィパスツールのグローバル研究開発部門長のJohn Shiver博士は、「サノフィパスツールは、当社の専門家が、世界規模ならびにジカウイルス流行地域における科学と公衆衛生学の専門家らと共に、非常に有益な協働研究に取り組むことで、ジカ熱ワクチンの研究開発を加速してまいります」と述べています。

ジカウイルスは、デングウイルスときわめて近いウイルスです。いずれもフラビウイルス科に属し、同じ種類の蚊が媒介し、急性期症状に関しても似ています。ジカウイルス感染でよくみられる症状は、発熱、発疹、関節腫脹、結膜炎および頭痛です。しかし、妊婦がジカウイルスに感染すると、小頭症と呼ばれる先天異常の子供が生まれるリスクが上昇することを示すエビデンスが得られつつあります。小頭症とは、頭部が異常なほど小さく、脳の発達が損なわれる疾患で、通常の発現率は低いことが知られています。

サノフィパスツールのグローバル研究部門長で、ジカウイルスワクチンプロジェクトを率いる Nicholas Jackson 博士は、「サノフィパスツールは、現在急速に拡大しつつあり、合併症をもたらす可能性のあるジカ熱を予防するワクチンの開発を求める世界的な呼びかけに応え、立ち上がりました。ジカウイルスがこの重篤な先天異常をもたらす可能性を検討するほか、ジカウイルスと生命の危険を伴う神経障害との関連についても検討を進めています」と述べています。

ジカウイルスは最近までは発生例が少なく、感染しても症状が軽いウイルスと考えられてきました。2015年5月に汎米保健機構(Pan American Health Organization, PAHO)は、ブラジルでジカ熱の最初の感染例を報告し、その後はアメリカ大陸の全体に拡大しました。米国では、保健当局がプエルトリコでジカ熱の感染例を1例報告しており、その他米国に帰国した旅行者にジカ熱が認められた例が複数発生しています。

世界保健機関(WHO)の第138回執行理事会では、WHOのDr. Margaret Chan事務局長は、ジカウイルスを懸念する理由として、以下の4項目を挙げています。

- 出生時の形態異常や神経系症候群と感染との関連が考えられること



- ウイルスを媒介する蚊の地域分布からみて、さらに世界的に拡大する可能性があること
- 新たに感染例が発生した地域では、住民に免疫がないこと
- ワクチン、特異的治療法や迅速な診断検査がないこと

また米国疾病予防管理センター(Centers for Disease Control and Prevention、CDC)は、妊婦に対して、ジカ熱が流行中の中南米およびカリブ海諸国への渡航を延期するよう勧告しています。

現在、ジカ熱に対するワクチンや特異的治療法はありません。ジカ熱の対策については、ジカウイルスを媒介する蚊の駆除が重要です。

以上

サノフィについて

サノフィは、患者さんのニーズにフォーカスした治療ソリューションの創出・研究開発・販売を行うグローバルヘルスケアリーダーです。糖尿病治療、ヒト用ワクチン、革新的新薬、コンシューマー・ヘルスケア、新興市場、動物用医薬品、ジェンザイムを中核としています。サノフィはパリ(EURONEXT:[SAN](#))およびニューヨーク(NYSE:[SNY](#))に上場しています。

サノフィパスツールはサノフィ・グループのワクチン事業部門で、毎年10億回接種分以上のワクチンを提供し、世界中で5億人以上の人々に対してワクチンの接種を可能にしています。ワクチン業界における世界的リーダーとして、サノフィパスツールは、20種類もの感染症から人々を守る、世界で最も幅広いワクチンの製品ラインアップを提供しています。「命を守る ワクチンを創る」という会社の伝統は、一世紀以上の歴史を有しています。サノフィパスツールはワクチンに特化したメーカーとして世界最大級の企業であり、日々、研究開発に 100 万ユーロ 以上を投資しています。サノフィパスツールは、全世界の公衆衛生専門家による予防可能な疾患への取り組みを支え、流行のおそれのある疾患への対応力を高める官民連携をサポートしています。詳細は、www.sanofipasteur.comまたはwww.sanofipasteur.us を参照ください。

サノフィの今後の見通しに関する記述

当プレスリリースには、1995 年民間有価証券訴訟改正法(修正を含む)でいう「今後の見通しに関する記述」が含まれています。今後の見通しに関する記述とは、歴史的事実を述べるものではない記述です。これらの記述には、計画と予測ならびにそれらの根拠となる前提、将来の財務結果、事象、事業、サービス、製品の開発および可能性に関する計画、目標、意向および期待に関する記述、ならびに、将来の実績に関する記述が含まれます。一般的に、今後の見通しに関する記述は、「予想」、「期待」、「見込み」、「予定」、「予測」、「計画」などの表現によって識別されます。サノフィの経営陣はそのような今後の見通しに関する記述に反映された予想を妥当と考えますが、投資家は今後の見通しに関する情報と記述がさまざまなリスクと不確実性の影響を受けやすく、それらの多くが予測困難であり、通常サノフィが制御できず、そのために実際の結果と進捗が、今後の見通しに関する情報と記述の中で表現された、暗示された、または予測されたものとは大幅に異なる場合があることに注意してください。そのようなリスクと不確実性には、研究開発、市販後を含む今後の臨床データおよび解析、薬剤・機器・生物学的製剤などの製品候補について提出される申請の承認の是非および時期に関する FDA や EMA などの規制当局の決定、ならびにそのような製品候補の利用可能性や商業的可能性に影響を及ぼすラベリングその他の問題に関する当局の決定に付随する不確実性、製品候補が承認された場合に商業的に成功するという保証の欠如、代替治療薬の将来的な承認および商業的成功とグループが外部成長の機会から利益を得る可能性に付随する不確実性、為替レートと実勢金利のトレンド、コスト削減方針とその後の変更の影響、期中平均発行済み株式数、ならびにサノフィの 2014 年 12 月 31 日終了事業年度フォーム 20-F 年次報告書の「リスク要因」および「今後の見通しに関する記述」項目を含む、サノフィが作成した SEC および AMF に対する公の届け出の中で議論されているかまたは特定されているものが含まれます。サノフィは、適用法によって義務付けられている場合を除き、今後の見通しに関する情報または記述の更新または見直しを行う義務を負うものではありません。